

# あひるぐみだより

2022年度 10月号

社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園

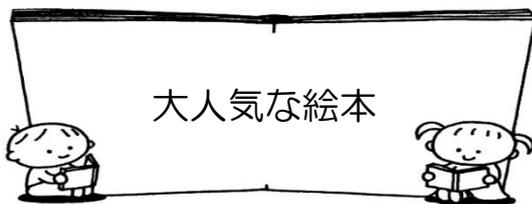
さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になってきました。戸外で遊ぶことが増え、テラスでは箱積み木を一列に並べ続けて丸いマットやフラフープを置いて長い一本道を作り、その上をゆっくりと歩いたりジャンプをしたりして遊んでいます。保育者が腕を横にして歩くと、真似をして「ピン」と言いながら歩く姿もありました。室内では、平均台やトンネル、マットで坂を作ると好きなどころで体を動かして遊んでいます。平均台は落ちないように歩くのが上手なので親子であそぼう会の際にぜひ注目しながら一緒に楽しんでください。



## 子どもの姿

あひる組の部屋に新しい虫の絵本がきました。初めて見る虫の絵本を手に取り「よんで」と持ってきます。保育者が読むと「これなに?」「カエル」などと絵本に出てくる生き物に興味津々な子どもたち。ダンゴムシの便が四角いことや濡れている枯れ葉を食べることを繰り返し読んでみると、「うんち四角いよ」「この葉っぱ食べるよね」とダンゴムシについて少し詳しくなったあひる組さんたちです。

オムツ替えをする時にトイレのドアを開けているとりす組さんが座っている姿をじっと見つめ、「トイレ行きたい」という様子が見られてきました。お兄さん、お姉さんたちと同じようにトイレに行き座ると、嬉しそうなる表情をして部屋に戻ってくる子どもたち。友だちが座っている様子を部屋から見つめ、「座ってみたい」という気持ちが見られるようになりました。少しずつトイレに興味をもち始めている子どもたちの気持ちに寄り添い、「行きたい」というときは座るようにしていきます。



“まるいたまご”の絵本が大好きな子どもたち。いろいろな色をした卵や生き物が出てくると、絵を指差して「赤」「シマシマ」と色や卵の模様を言っていたり、「ひよこ」「カラス」や「ピヨピヨ」「カーカー」などと生き物の名前や鳴き声を真似したりしながら楽しそうに見ています。

“はらぺこあおむし”の絵本も好きで、たくさんの果物や食べ物が出てくると「りんご」「いちご」の絵を摘まんで“パクッ”と、とても美味しそうに食べる真似をして「おいしい」「あまいね」と言っていました。



## お知らせとお願い

- ・10月15日は親子であそぼう会があります。ぜひ参加をしてお子さんと一緒に体を動かし、たくさん触れ合い楽しい時間をすごしましょう。
- ・服と靴下、肌着の補充と記名をお願いいたします。
- ・爪が長いと怪我に繋がりますので切ってください。